

第25回 緑の市民懇話会

会議録

1 日時 平成24年 10月 5日(金) 14:00 ~ 16:00

2 場所 401・402会議室

3 出席者

(市民) 久委員、 下村委員、 日高委員、
磯貝委員、 稲葉委員、 大鋸委員、 倉品委員、 林原委員
藤田委員、 山田委員、 岩井委員、 北島委員

(事務局) 中井みどり景観課長、西本みどり景観課課長補佐、西川花のまちづくりセンター所長
巽みどり景観課緑化推進係長、坂東みどり景観課主任、大澤みどり景観課

(欠席者) 1名

4 議事内容

1 開会

2 案件

(1) 花と緑の景観まちづくりコンテストについて(報告)

(2) その他

【久座長】 それでは、案件(1)の「花と緑の景観まちづくりコンテスト」について、事務局から説明願いたい。

【事務局】 【花と緑の景観まちづくりコンテストについて 説明】

【久座長】 ただいま事務局から説明があったが、先ず9月26日に現地審査に行かれた下村先生を中心にまとめていただいているので、代表して大鋸氏から報告願いたい。

【大鋸委員】 簡単に説明させていただく。9月26日の水曜日9時半からふるーらむで集合して、下村先生と市の職員4名、それから都合のつく懇話会のメンバー10名の合計15名でバス2台で出発した。応募のあった21団体から市側の事前調査で行ってもお花が少ないので時間短縮という意味も含めて3件を除き残り18件を回らせていただいた。最初から関わらせていただいている者としてほとんど回ったのは初めてだと思う。そういう意味では少し忙しかったが、良かったと思う。やはり見ないと印象に残りらないので回れたのは良かったなと思う。

現地審査後、感想などを話し合った。また、ビデオでの事務局説明をいただき、現地に行っていない方も、行った方も意見が変わることもあるかと思うので、改めて挙手という形で決めるのが一番いいと思うのだが、いかがか。

【久座長】 ありがとうございます。それではこれから最終的に決めていきたいと思う。

【日高委員】 たまたまコミュニティー部門の20と学校部門の1と14の3つは行かせていただけなかった。花が少ないだろうからとか、全部回ろうと思うと大変だろうからとか、行けなかった部分がとても心残りなので、その3つも視野に入れていただいて、9月6日のビデオ

オを参考にしながら皆さんに審査していただけたらありがたい。花が少ないだろうから行かなかったという理由で最初からカットするのではなくて、学校部門の1番なんてちょうど私達が行った日に植替えをされていたそう。そういう意味では行けたらそれを見ることができたのと思う。悪いことをしたなと思う。こちらの都合でそうしたので、どうぞ尊重していただいて、頑張っていたことも想像していただけたらなと思う。

【大鋸委員】 そのほうが公平だ。折角応募してくださったからには全部公平ということで。

【日高委員】 本当はもっと綺麗な時に行かせていただくのが一番いいのだが、そうではなくて、こちらの都合で行ったので、そこも想像していただきながら3つを視野に入れていただきたい。

【久座長】 ありがとうございます。それではこれから審査の方に移りたいと思うが、いつもすぐに投票とか挙手ではなく少し意見交換させていただいて、その後ということにさせていただいていたので、まずは最も数の多いコミュニティー部門から考えさせていただきたいと思う。現地に行っていたいただいた方の感想でも良いし、応援演説あるいはこれは問題だなというご指摘をいただければと思うが、いかがか。

【大鋸委員】 10番のコミュニティー部門のところは、昨年に比べて随分綺麗になっていたように感じた。いろんな面白い工夫もされていたので、私個人としてはすごく頑張っている印象を受けた。

【日高委員】 昨年、「人数の割には…」と言ったのがすごく効いたみたいで。たくさん水をやってくださり、いろんなことをしてくれたみたいだ。こんなに手をかけているのになぜ落ちたのだろうと思われたのが伝わってきた。すごく頑張りやだという思いが見えた。

【稲葉委員】 10番は、サロンの時に皇帝ダリアを植えたいということで応募をされて、私も皇帝ダリアの寄附をしたが、皆さんもかなりの数を寄附された。その皇帝ダリアはまだ咲いていないが、高いところに植えて後ろの汚い建物を隠そうとされているよう。かなりの数の寄附を受けていたので寄附した皆さんは興味を持って見るだろうと思う。

それとお話を伺っていると万葉の道づくりというテーマを持っておられて、今後は山吹とか古い形のアジサイを植えていきたいとおっしゃられていたので、テーマを持ってされているというのと、地域性というか人の目に付きやすい場所なので、今回高く評価してあげたいと思う。

【久座長】 ありがとうございます。他10番意外は何かあるか。

【日高委員】 コミュニティー部門の5番だが、昨年に比べてイメージチェンジされていて夏が終わった9月26日の現地審査の時でもとても綺麗だった。さすがだと思った。それも人数をきいたら10何人でおっしゃられ、凄い努力をされていた。

それにだんだん高齢化で出てこられない方もおられるときいたので、本当に少人数で今までと同じように、またそれ以上に維持されているというのが見えてきて、これまで以上に頑張っているのが見受けられた。

【久座長】 他にいかがか。

【磯貝委員】 13番の緑のカーテンが非常に綺麗に映っている。私は行ってないのでなんとも言えないのだが写真はまだ成長途中というところだ。これは横には芋か何かを植えているのか。

- 【稲葉委員】 お花の方はいまいちだった。
- 【日高委員】 ゴーヤもボリュームが無かった。
- 【山田委員】 お花のボリュームも無かった。
- 【稲葉委員】 15番はトレニアが盛りの時期は凄く綺麗だったが、トレニアが割合早く終わってしまうから少し残念だった。
- 【大鋸委員】 色もちょっと地味だった。いつもはもっと綺麗にしている。
- 【稲葉委員】 去年はペゴニアでもっと綺麗だった。
- 【日高委員】 いつもはもっと綺麗なのに行く時期が悪かったのかと思った。
- 【日高委員】 コミュニティー部門の9番だが、本当に苦勞というか、芸術というか。どういう風になるか分かってらっしゃるというか。色の配置もそうだし、本当に綺麗にされていると思う。
- 【下村委員】 植えている場所は一緒なのにガラッとデザインを変えられている。
- 【日高委員】 雰囲気が変わられた。
- 【下村委員】 あれだけサフィニアを入れたら高いなと思っていたが。
- 【大鋸委員】 寄附というかサントリーに申請されたみたいだ。
- 【磯貝委員】 サントリーの写真が出ている。
- 【岩井委員】 これは5月からずっと綺麗な状態だ。今日も見てきたが、綺麗にしている。
- 【下村委員】 この前はペゴニアで綺麗に作っておられた。
- 【稲葉委員】 去年があまりに綺麗だったからちょっと今年は。
- 【岩井委員】 これは見に行く日については皆一切連絡をしていないのか。
- 【大鋸委員】 私も近所の人に今朝聞かれたが、それは守秘義務があると思って言わなかった。それは公平にどこにも言うべきではないと思う。
- 【藤田委員】 逆にいつ行きますと言うとその際に綺麗に補充したりするということも考えられる。また余計に楽しんでもらえるということもある。
- 【大鋸委員】 連絡するなら、した所としていない所がでないように皆に言わないと公平さに欠ける。今後はするという方向性も検討してもいいかもしれない。
- 【日高委員】 審査の日に「今日来たのですか」と言われたので。
- 【大鋸委員】 雄島さんが言われていたように植替えの日とかぶる場合は、応募する側は教えていただ

いた方が良いみたいだ。やはり毎日気になっているようだ。

- 【久座長】 その前後3日くらいだけ美しくなりそうだ。
- 【大鋸委員】 本来はずっと綺麗であるべきことが目的なので、そこはもう公平に、言わないなら完全に皆に言わないことにしよう。
- 【岩井委員】 コミュニティー部門だけではなく、全体を通しての感想になるが、本当にどこも皆さん力をいれておられるなというのを感じた。わたしも昨年審査会に行かせてもらったが、昨年と比較しても、より充実しているなというような感想を個人的に抱いた。
- 【林原委員】 私もそう思う。今年は特に天候不順のなかで、熱中症の心配があるにも関わらず、またゲリラ豪雨だとかいろいろ大雨もあったが、そういう中にもめげず草引きをしながら花を育てるといのは写真でも見ていたら伝わるものがある。よくぞ頑張られたなど。全体評価としてはいいなという気持ちを持っている。
- 【久座長】 それでは、最優秀賞、優秀賞を決めないといけないので、とりあえず議論はそこで置いておかせていただくとして、学校部門でご意見いただければと思うが、いかがか。
- 【大鋸委員】 3番の今年初めて応募したところだと思うが、やはり私立のせいとか少し他のところとカラーが違った感じが良かったと思う。とても努力しているのがよく分かる。
- 【日高委員】 今年、力を入れていた方が退職されたのにね。
- 【大鋸委員】 やはり吹奏楽なんかでもそうだが良い指導者が動くたびに賞を持っていくみたいな感じで、上の人って凄い影響力があると思う。先生が動く度に確実にそこが輝くのがすごいと思う。
- 【日高委員】 そういう意味では上中では、前校長から言われてやっているが、指導しに来てくれたりもするので、怠るわけにはいかないといっているようだ。中学生でも小学生でも幼稚園でも子供たちに情操教育的にお花であるとか、自然であるとかに関わらせてあげるの、普通の部活のトレーニングで走っていても挨拶してくれる生徒の姿と重なって頑張りが見えた。
- 【大鋸委員】 とても良かった。走ってくる子が1人だけでなく、皆が挨拶してきてくれて学校の姿が見えた。
- 【北島委員】 3番に戻るが、幼稚園の正門のところの大きな鉢のインパチェンスがとても見事だ。毎朝かわいい素敵な花が迎えてくれるというのは子供にとってはとても良いことだ。それからプランターがカラフルなビニールテープで巻かれていて、ちょっとした工夫であんなにも素敵になるのかなとすごく良い印象を受けた。あとフェンスのハンギングが凄く気持ちが入っていていいなと思った。
- 【稲葉委員】 3番のインパチェンスだが、今年はゲリラ豪雨もあり、高温だったので私もインパチェンスを植えているが、すごく育てにくかった。だけどすごく綺麗だったので強く印象に残っている。
- 【大鋸委員】 あれだけ大きいのにしっかりしていた。

- 【稲葉委員】 日陰をうまく利用されていた。
- 【下村委員】 フェンスを変えたらもっとハンギングが良くなると思う。
- 【稲葉委員】 ここは私立なので。
- 【林原委員】 フェンスが邪魔をしている。
- 【稲葉委員】 園舎が感じのいいものだからそれに合わせるとお花も映えるのではないかなと思う。
- 【久座長】 後、学校部門はいかがか。 よろしいか。
それでは、事業所部門は2つということになるが、他にいかがか。
- 【稲葉委員】 6番について、今年は何か大きな樹木を植木鉢に植えたが、枯れてしまった。
毎日通るので心配していたが、すごく努力されて、今は審査に行ったときよりは緑が多くなっている。狭い範囲だが結構すごい種類の植物を植えておられるので、努力されているなと思う。
- 【大鋸委員】 いつもはもっとすごく綺麗にしている。
- 【日高委員】 9月6日が駄目だったのか。
- 【倉品委員】 毎年のようにレイアウトを変えて新しいデザインでやっていることに感心している。毎年スタイルを変えるっていうのも市民を楽しませるのではないかなと思う。
- 【日高委員】 駅から出てきても、買物していても、周りがコンクリートで無機質な中にぱっと現われて、ドキッともし、癒されもし、嬉しいなと思う。
- 【大鋸委員】 毎年、審査があるとかないとか関係なく、いつも綺麗にしている。
- 【下村委員】 これは審査基準には入らないと思うが、横の喫茶店か何かがされているのか。
- 【大鋸委員】 グリーンヒル全体だ。4階で苗を育てているみたいで、すごく頑張っておいでだ。
- 【下村委員】 お店の玄関先を飾っているだけではない。
- 【林原委員】 ここは遊園地の客だけでなく、生駒山あるいは宝山寺の参拝客の玄関口になっていて、大阪かいわいから随分ケーブルカーを使ったりして来られる場所だ。スポットというかすごいところだと思う。
- 【下村委員】 常連さんでもあって昨年も賞を差し上げていたと思う。
- 【稲葉委員】 ここはクリスマスにもイルミネーションで綺麗にしている。
- 【大鋸委員】 多分駅を利用される方はいつも和んでらっしゃるのではないかなという気がする。
- 【林原委員】 ぴっくり通りのいなもりさんのラインの応募は今回は無かったのか。
- 【稲葉委員】 あれはちょっと違う。

- 【磯貝委員】 1点だけいいか。個人住宅で19番があるということは19件以上あったということになるのか。
- 【大鋸委員】 今年は21件だ。
- 【事務局】 全部通し番号である。
- 【久座長】 それでは、次個人住宅部門3件だが何かご意見いかがか。
- 【大鋸委員】 2番の個人部門だが、2番ということは募集して勢いよく応募してくれたということだ。そして、決して広い庭ではないけれども、よく手入れされている。飾りつけを見てみかにも家族でお子さん達を巻き込んで楽しみながらお花を飾っているというのが伝わってくる。場所も上手く利用されていて、あのくらいの規模のところであのように綺麗に飾れるというのは、一つの大事な見本になるのではないのかという感じを受けた。
- 【日高委員】 木もすごく効果的だ。
- 【下村委員】 1本しか植わっていないけれど、なかなか良かった。
- 【大鋸委員】 一つ一つが上手く考えられている。
- 【下村委員】 良い雰囲気がある。去年はほのぼのだったと思うが。
- 【大鋸委員】 ハロウィンの飾りも子どもの手書きの看板があたりして、若い方にもこれから参考にしていきたいお庭だと思う。
- 【林原委員】 アットホーム的な感じになっている。これはフェンスはなく、見せる庭になっている。
- 【大鋸委員】 今風だ。
- 【林原委員】 公共性というか、半公共性という感じがある。
- 【下村委員】 オープン外構だ。
- 【磯貝委員】 話は変わるがこのお花は個人持ちか。
- 【大鋸委員】 個人のところは全部個人持ちだ。全く助成はない。
- 【倉品委員】 大きなお花はないけれど草花だけでうまく調和している。
- 【大鋸委員】 参考にしようと思えばいつでもできるような庭になっている。
- 【林原委員】 あまりにも綺麗だから、庭に勝手に入りたくなるが、やはり許可が要るのか。
- 【大鋸委員】 人の敷地なので勝手には入れないと思うがどうなのか。
- 【下村委員】 また次の課題でお庭拝見が可能性としてはある。

- 【大鋸委員】 ほとんどオープンガーデンだから、お宅の人に声さえかけてあれば喜んで入れてくれるかもしれない。
- 【日高委員】 個人住宅部門ではないが、よろしいか。学校部門の21番に、3人のボランティアさんで管理しているとおっしゃっていただいているが、それにしても大きくて広くて、中庭も綺麗にしている。校長もちゃんと木陰に出てきてくれて良くしてくれるという説明をいただいた。
- 【大鋸委員】 21番は12人って書いているが。
- 【日高委員】 3人のボランティアさんを入れて12人ということか。
- 【下村委員】 中庭の方は校長と教頭で世話をしていると言われていたので、全部入れて12人ではないか。
- 【日高委員】 学校外からは3人のボランティアさんが常時来てくれているだろう。ひょっとしたら述べ12人かもしれない。生徒さんも水やりは必ずしてくれていなかったら大変なので。中庭は校長さんと教頭さんでずっと水やりをしていると言われていた。
- 【倉品委員】 広い割には綺麗にされていて、ゴミもないし草もないし、清潔感がある。
- 【日高委員】 定期的に毎年綺麗にしてくれている。
- 【林原委員】 花の品種も割合豊かだったし、緑と花の調和もかなり良かった。
- 【久座長】 もう一度話を元に戻らせていただいて、個人住宅部門は他に何か、いかがか。
- 【下村委員】 個人住宅のほうで道路に飛び出しているような形で花を置かれている方に、みどり景観課として賞を差し上げるというのは大丈夫なのかなと思う。花はすごく立派でいいが、多分公園に許可を得て、勝手に花を植えている方はおられないと思う。ガードレールの下は微妙である。固いことはあまり言いたくはないが、道路占用物扱いの可能性があって、管理者は多分道路部局だと思うが、正式にこのように賞を差し上げていく時には少し意見をいただいといたほうがいいと思う。
- 【日高委員】 以前もそんな話があった。綺麗だったらなんでもいいのかという話だ。
- 【事務局】 市有水路というのは、公有水路とは違い立会いしないと分からない部分があるが、そういったことが推測されるから難しいということでもよろしいか。それを確立していただいといたことだが、なかなか公表できない。
- 【下村委員】 だから市民懇話会として決定するのがよいと思う。賞は座長名ではなく市長名か。
- 【事務局】 今の先生からいただいた意見というのも我々のほうでお聞きして最終選考させていただくということでもよろしいか。
- 【久座長】 これがアスファルトのところまで出ていたら駄目と言えるが、微妙な長さが出ているので難しい。
- 【下村委員】 足で押し込んだら入りそうな感じである。

- 【日高委員】 ガードレールの向こうで花を休ませるのはよいのか。
- 【事務局】 ガードレールの向こう側で花を休ませることは、事故が起こった時にハンギングしておられたとしたら少し難しいところだ。
- 【下村委員】 学校のフェンスもかかっているところが側溝のところまでなら問題はないが、フェンスぎりぎり飛び出していたらこわいところがある。まだそこまでは確認していないが。
- 【日高委員】 フェンスの内側であって、飛び出していなければ問題はない。
- 【大鋸委員】 下村先生が今おっしゃられていたのは19番の個人部門だと思うが、近所なので流れから彼女を弁護するわけではないが、以前は家の前だけだった。少し花を休ませるところが欲しいということで、それはどこでどういうふうにするかを許可してもらったかまでは知らないが、やはりフェンスのところまでというのは思っておいでになれる方は結構おられるかもしれない。近所は意外と知らないと思う。それともう一つ、19番は現地調査の時はあまりだったが、普段はもっと綺麗にしておいでだ。うちは近くで畑をしているので、時々行くが、普段はもっと綺麗にしておられる。
- 【日高委員】 もうしんどくなったからこちら側はやめておくと言っておられた。
- 【下村委員】 是非、寛大な目で見ていただきたい。街並みとか緑にとっては溢れ出すとかしみ出すというのは本当はあって良い話だと思う。市民懇話会で出すという話ならいいが、ただその時に、なにか起こってしまった場合は難しい。
ただ、久先生がおっしゃるように市長名で書く時には少し気になる。
- 【日高委員】 見る分にはいいのだが、賞をお渡しするという事になると。
- 【大鋸委員】 そうだと思う。
- 【日高委員】 そこを認めて褒めているということになるので、ルール違反というか線引きのところをしないといけない。
- 【下村委員】 10cm出ているのと50cm、1m出ているという事に変わりはないかなと思う。
- 【稲葉委員】 地域性というものがあるのかなと思う。北新町なんかは、たけまるホールの前でも植木鉢を置くなとかすごく言われているのでうるさいが、それに比べて喜里ヶ丘は自由なのだなと思う。
- 【稲葉委員】 これは行政側から注意されたほうがいいのかもしい。
- 【山田委員】 今の公共の延長だが、地域性からお話しすると、我々のところにも勝手に植えられた花壇がある。しかしこれは無限に広がってしまう。これがエスカレートすると野菜とかそういうものを植えられるようになる。そして結局自分の家の前だけを、ポイント的にやられるが、全体の街のバランスを考えたら違和感があり、我々はそういうのを見たときに注意している。
- 【大鋸委員】 自分の敷地外に出た場合か。

- 【山田委員】 もちろん。
- 【稲葉委員】 現に喜里ヶ丘に少しある。たまねぎとか。
- 【山田委員】 そうだろう。結局それが長く続くと、居住権ではないが、こちらの管理を問われる。それ以前に住む人の姿勢が問われる。自治会からは注意している。
- 【林原委員】 やはり自治会の立場から言うのだめである。総会とかでは路上駐車とかでも公共物なので道路を一時的でも占拠しないようにと言う。一時的には良いのですが、そこが論点の分かれ道で、夜間路上駐車でも深夜遅くに帰ってきて朝早く出る時は大目に見ようというようにしている。それとお客さんが来たら、車のフロントガラスにどこに停めていると、名前を書いたプレートを置くという工夫はしている。過去にいろいろ路上駐車で自転車を盗まれたり事故が起こったりして警察沙汰になったことがある。路上駐車をしていたために事故が起こったのに、この路上駐車者の方には責任が無いのかとか。法律的には応分の責任があるだろうが、そういうことで美観上、景観上はやはり具合が悪い。街が乱れるから、治安とか安全とかそういう面でだめだ。そういうことで警察の手も借りながらやっている。
- 【山田委員】 それで、私は緑と花とのバランスをとりながらチェックさせてもらっているが、お花を中心に考えている方はもちろん管理も考えておられるが、プランターの形がいびつであったり、形のバランスが取れていないだとか、色がバラバラであったりだとか、皆さん花だけを議論されるが、この下のプランターの統一性についてはどうなっているのかと感ずるときがある。私はそういう視点から調査させていただいた。
- それから街とのバランスについても、もちろん地域性デザイン性が大切。いつも下村先生の講演の中でお聞きして勉強させていただいているのは、大きなスペースやコミュニティについては、同じ色彩のもので連続的にするほうが綺麗に映るということ。なるほどと身をもって感じている。お花というと色んな花を混ぜたらいいというようなことを言われるが、私の美的感性からいうと、ちょっと違和感がある。というような私的な意見も言わせていただく。
- 【久座長】 正直言うと整えていくというのは無難である。そして、いろいろ混ぜると言うのはセンスがいる。センスの良い人が混ぜていくのは綺麗だが、センスの悪い人が混ぜていくととんでもないことになるので、とんでもないことになるのなら統一しておいた方がまだいいという感覚がある。
- 【大鋸委員】 単色の方が絶対簡単。
- 【日高委員】 今、山田さんがそういう観点でおっしゃられたが、お花をずっと植えてらっしゃる方はお花だけを植えている訳ではなくて、木とのバランスであったり、街の中でどう調和しているかであったり、それこそ倉品さんがおっしゃったように、見ていて楽しかったねとか、いろんな観点から見ておられる。本当に花だけを見られているのではなく遠くからみたらどうだったとか、やっておられる方がどうだったとか、いろんな観点から考えて審査していただいたので、結構な時間を費やしたような形になってしまった。結構長かったと思う。
- 【下村委員】 山田さんがおっしゃった、トータルでという話だが、最後の今後の課題で少しお話させていただこうと思っていた。タイトルにあるように花と緑なので、毎年毎年、世話が一年間かかってしまうのは花だが、木においては1番初めは大変だが植えたら後は大分楽だ。もちろん植えたら管理しないといけないし、下の雑草を抜かないといけないし、手入れもしないといけない。大変だがトータルとして考えた時に緑に対する評価をしておかないで

いいのか。

例えばすごく汚かったところの里山管理をたくさんしていただいている緑の風景も、今後の展開として検討の余地はあると思う。少しそんなことも考えていて、また部門を増やすのかとか、緑の部門と花の部門を分けるのかとか、色々あるのでしょうか。すぐということではないが、今私が言っている話の延長で言うと、少し緑活動の評価というのを、景観コンテストというのに入れていく可能性があるのかについて、最後に話をしようかと思っていた。

- 【日高委員】 応募部門には、花や緑と入っている。花だけを見て、緑を読んでいない。
- 【稲葉委員】 審査していない段階でこれが先走っているのはお許しいただきたいが。
- 【久座長】 花き花木と言いますが、花きが多い。
- 【林原委員】 審査基準の中の に景観面での街並みとの調和とある。花や緑以外の造形物が全体評価として裏付けられると思う。
- 【久座長】 それでは、話を元に戻して、審査に戻したいと思うが、色々お話を聞かせてもらった。コミュニティ - 部門で応援演説があったのは5番、9番、10番。それから学校部門は3番、12番、21番だ。それから、事業所部門は6番。個人住宅部門は2番というところで応援演説をいただいた。他でも結構だが、その中からまずは、最優秀賞、優秀賞を1点ずつ選ばせていただきたいと思うので最優秀賞推しのお声をいただきたい。これは部門関係なく最も良いというものを選んでいただきたい。
- 【磯貝委員】 個人住宅の2番。
- 【藤田委員】 私も2番に賛成だ。家と木と花とデザインと子どもさんとか、全てがマッチングしていて一番良いように思った。
- 【大鋸委員】 藤田さんがおっしゃるように私も賛成だ。少しスケールが小さいが、誰にでもできるというところが良い。お家から誰も出てこられなかったけれど、家族がほのぼのとお子さんを大事にしているという感じが見ただけで伝わってくる。
- 【久座長】 他にいかがか。
- 【下村先生】 個人住宅で一等賞を差し上げるというのは、どんどん募集をしていただくきっかけづくりとしても大事になってくる。
- 【久座長】 今までは、大きなお屋敷が多かったが、こういうこじんまりとしたところもいいかと思う。
- 【大鋸委員】 若い人に差し上げると、これから若い人達も来てくれるかもしれないし、やってみようと思うかもしれない。
- 【林原委員】 生駒市はやはり住宅都市である。戸建てがほとんどだと思うが、そのうちマンションも含めたら、すごくこの辺りを引き付けるものを将来性に賭けてみたいと思う。
- 【倉品委員】 昨年度に最優秀賞のお宅はものすごく立派だったので、立派なお宅でないと応募できないのではないかとということで多分今年は応募者が少ないのだと思う。今年は小さくても密度

の濃い気持ちのこもったものが入れば、来年は参加者が増えてくれるのではないかと思う。生駒全体の底上げの意味では差上げたいと思う。

- 【日高委員】 昨年はランク外の特別だった。
- 【倉品委員】 お金がないとできないのではないかとあって、皆がガクッとなってしまった。
- 【久座長】 それでは最優秀賞は個人部門の2番ということでいいか。次、優秀賞はいかがか。
- 【稲葉委員】 10番の寿広場を推薦したい。ますます頑張っておられる方が多いので。
- 【大鋸委員】 みんなが綺麗だと感じる。それと、昨年に比べて本当にいろんなデザインをしている。
- 【稲葉委員】 育てる花壇にされていこうとしている点も評価できるのではないかと思う。
- 【藤田委員】 皇帝ダリアのところ到低い花でも植えたら綺麗だと思う。
- 【稲葉委員】 今後アジサイなんかをたくさん植えていただいたらいいのではないか。
- 【林原委員】 ここは開園して2年目くらいか。それにしても立派だ。2年目にしてこれだから、3年目はすごいだろう。
- 【久座長】 今度は最優秀を目指していただきたい。それでは総意のようなので10番のコミュニティ - 部門を優秀賞としてよろしいか。後は、それぞれの部門の景観賞とまちづくり賞ということになるが、まずコミュニティ - 部門の10番は優秀賞をいただいたので、後は候補にあがっているのは5番と9番になるが、他はいかがか。どちらかに景観賞、どちらかにまちづくり賞を差し上げるということはいかがか。
- 【日高委員】 5番は景観賞か。
- 【久座長】 5番が景観賞、9番がまちづくり賞でよろしいか。それでは学校部門だが、候補にあがっているのは3番、12番、21番というところか。
- 【磯貝委員】 7番は候補にあがらなかったのか。
- 【久座長】 どなたからもお声をいただかなかった。
- 【稲葉委員】 フェンスが木製ですごく素敵になっていたが、額縁がかけられていてその中が全部枯れていたの、少しマイナスだと感じた。
- 【大鋸委員】 市の学校としてはフェンスが素敵だという気がした。
- 【日高委員】 あまり人目に触れないから寂しく感じる。今年で園長は卒業だからまた大変になる。
- 【久座長】 景観賞、まちづくり賞はいかがか。
- 【大鋸委員】 学校部門では3番。
- 【久座長】 3番が景観賞で、まちづくり賞はいかがか。

- 【藤田委員】 8番も草引きなど手入れができていて良かった。
- 【日高委員】 12番と21番がきれいだった。
- 【久座長】 21番がまちづくり賞でいいか。それでは、学校部門は3番が景観賞で、21番がまちづくり賞ということにする。事業所部門は2つしかないが、無理やりということでもないので、今年は該当なしでも結構だ。
- 【磯貝委員】 一つは6番。
- 【稲葉委員】 6番は景観賞かまちづくり賞のどちらがいいか。
- 【山田委員】 6番は稲葉さんがよく観察しておられるグリーンヒルの場所か。緑の鉢に植えてある黄金コノテガシワだが、この木はロウソクのような自然な樹形になるはずなのでもう少しきれいに刈っていただきたい。私の判断からすると、あれは見られた状態ではない。普通は剪定しないが鉢があので大ききなので剪定しないといけない。
- 【久座長】 景観賞でいいか。
- 【磯貝委員】 景観賞でしょう。
- 【林原委員】 まちづくりは4番でいかがか。これは確か学研北生駒駅の奈良交通だ。去年はあまり良くなかったが、今年はいいと思う。
- 【稲葉委員】 後ろのフェンスにハンギングでかけられたらもっと効果的なのではないかと思うが、道路側からあまりよく見えないのが残念。
- 【久座長】 賞は無理に差し上げなくてもいいので今年は該当なしということでもいいか。それでは個人部門だが、残り2つはいかがか。
- 【稲葉委員】 市長の名で賞を差し上げるのであれば、問題があるならやめた方がいいと思う。
- 【林原委員】 公園とか許可が出ているものは別として、個人部門で違う土地まで花を飾っているのは審査の対象外になる。そうしないと審査はできないと思う。
- 【磯貝委員】 ふろーらむの受付の仕方も考えないといけない。
- 【久座長】 大鋸さんがご近所なので、どうしてダメだったか聞かれたら、こういう話があったとお話いただいたらよい。
- 【稲葉委員】 審査が終わってから、何回か会って話をしたが、今年はすごく悪かったということをも本人も分かっていた。なぜあの日審査に来たのかを尋ねられたが、こちらが選ぶことではないし、事前に教えることはできないとお伝えした。喜里が丘は割と他の自治会に比べてかなり甘いと思う。そういう意味でも市長の名前で差し上げるのであれば、やめた方がいいのかもしれない。向こうが聞いてきたらそれなりにやんわり言えるかなと思う。
- 【日高委員】 いい機会だと思う。

- 【林原委員】 我々もその辺りの基盤整理というか、応募申込の時に、公有物には手をつけなくてほしいと伝えるべきだ。花を道路に置いたりするのは駄目だということを申し込み段階で厳格に条件提示するべきだったと思う。
- 【下村委員】 許可は下りない気がするが、悪いことをしている訳ではないので、なかなか面と向かって言いにくいのが難しいところだ。
- 【下村委員】 昨年は本当にハードルが高くて、あんなに素晴らしい家でないと賞を取れないと思われて、昨年たくさん応募いただいた方は今年一つも応募されていない。よっぽど個人の住宅の部門が大きかったのだと思った。そういう意味では今年個人部門であのお宅にもらっていたら、またたくさんの方が応募してくださると思うので、無理やりだしませんかと電話しなくてもいいと思う。また来年は変わると思う。
- 【事務局】 厳密にいうと近商の 2 階は、道路になる。許可をとっていたら別だが。2 階についてはいろいろ意見をいただいたので、その辺のところは役所のほうできちんとさせていただく。
- 【久座長】 取られたらどうですかと言ったらよい。取る事を条件に認める。
- 【日高委員】 でも、やはり通っていて嬉しいものだ。だから、そんなことを言われてやめようと思われたら大変だ。
- 【事務局】 言い方には気をつけないといけない。
- 【久座長】 それでは今年残念だが、個人住宅部門の 2 賞は該当なしということでいいか。それでは最終確認をさせていただきたい。
- 【大鋸委員】 学校部門を少し増やしてみるのはいかがか。
- 【久座長】 今回は 3 つも該当なしがあるので、経費的には特に問題はない。
- 【日高委員】 12 番とか良かったと思う。
- 【藤田委員】 12 番とか 8 番もよかった。
- 【久座長】 まちづくり賞か。
- 【山田委員】 できたら 8 番もいれてほしい。あれだけの面積がある。
- 【大鋸委員】 8 番も 12 番も綺麗だったと思う。子どもたちのためにも。生駒の先のためにも。
- 【久座長】 両方まちづくり賞でよろしいか。それでは、最終確認だが、今年度の最優秀賞は 2 番の個人住宅部門、それから優秀賞はコミュニティ - 部門の 10 番、それから各部門の賞はコミュニティ - 部門は景観賞が 5 番、まちづくり賞が 9 番、学校部門は景観賞が 3 番、まちづくり賞が 8 番、12 番、21 番、それから事業所部門は景観賞が 6 番、まちづくり賞は該当なし。個人住宅部門は両賞とも該当なしということだ。
私たちは立場上は意見として市に報告することになっているので、後は事務局というか市長が決定するということになる。
それでは次の課題に行く前に、先ほど来年度に向けての課題等を言っていたが、

他に何か意見等はあるか。

- 【日高委員】 いつも、応募される期間と審査する期間が違うというので、すごく辛い思いをしている。一番良い時に写真を撮っていただくというのは有難いのだが、何かしら落胆されないというか、今日来たのかと言われないような方法はないのだろうか。いつ頃行くとまでは言わないまでも、応募いただいた方には年間を通して綺麗にさせていただきたいと言うのも大変なのだが。いつ来るのだろうと思わせておいて、今日来たのかと思わせる申し訳なさがある。何か方法がないのかなと思う。
- 【下村委員】 募集される時に、募集のシートにこんなものを出してほしいという事と、いつぐらいに審査に行きますという情報は書いてあるのか。
- 【久座長】 手続きのところに書いておいたら良いと思う。現地審査 9 月中下旬頃、最終審査は 10 月上旬とでも。
- 【倉品委員】 コミュニティー部門の 20 番は、私たちは今回見に行かなかったところだが、ここは斜面を芝桜でやっているところなので、この時期は芝桜を見ることはできない。なので、この方がいくら応募しても芝桜の時期ではないので、絶対に見ることはできない。そういった審査の時に咲いていないお花に取り組んでいる団体にはどのような配慮をしてあげられるのか。
- 【日高委員】 昨年もあった。春は綺麗だが、行った時は何も無かった。
- 【倉品委員】 旬というのがあるから。バラは四季咲きもあるが、芝桜は春だけである。
- 【日高委員】 20 番が時期ではないから行かなかったが、本当は綺麗だ。
- 【倉品委員】 咲いている時はすごく綺麗だ。
- 【日高委員】 ましてや、斜面にへばりつきながら危険をかえりみずやっておられる事を思えば。
- 【倉品委員】 その努力が応募写真では感じられるが、審査には絶対反映されない。
- 【久座長】 その辺りが悩ましくて、確かに一時は美しいというのは分かるのが、後の季節はその景色がどのように見えるかというところもあるので、そこがなかなか難しい。
- 【稲葉委員】 お花がなくても葉が綺麗というのがあるので、そういったものが何か植えてあればよいと思う。
- 【倉品委員】 芝桜の後に、なにかカバーできるようなものを斜面に植えられるようにとアドバイスを。
- 【日高委員】 お花が無いから審査に行かなかったというのは、本当は花があったのに、こちらの都合で花がない時期に審査を行うため、行かなかった。
- 【倉品委員】 そういった指導は誰がしてくださるのか。アドバイスを考えていただきたい。
- 【下村委員】 一つ一つ全てにアドバイスしていかないと駄目になってくるのか。
- 【久座長】 聞かれたらそういうアドバイスをしてはいかがか。

- 【大鋸委員】 日本全国で芝桜をメインに観光客を呼んでいるところがある。北海道もたくさんあるが、その後はどうしているのか。
- 【藤田委員】 やりだしたら、応募の期間を2回とか3回に分けるとするのも難しい。審査も同様でなかなか大変だ。
- 【事務局】 ふろーらむではあえてアドバイスはしていないが、聞かれたら相談員さんを踏まえてアドバイスをしている。
- 【事務局】 今の話を聞いて、広報を作る際にQ & A関係の記載をさせていただいて、いくつか代表的なものを挙げさせていただくのがいいと考えている。例えば、現地審査の時に咲いていないといけませんかという問いに対して、やはり長く咲いているものが評価として高いというように。
- 【藤田委員】 そうすれば、いつ行くといわなくてもよい。
- 【久座長】 先程の道路の話も書いておくのがよい。
- 【下村委員】 賞の対象はお花だけですかという問いに対しても、立派な樹木のお庭も対象ですとか。
- 【大鋸委員】 何回も話しに出ているが、審査を春にするのはいかがか。そうすればこういった問題は割と少ないと思う。
- 【稲葉委員】 応募する人も多いと思う。
- 【大鋸委員】 花が好きな人にとって春はやはり天国だ。
- 【山田委員】 ずっと話を聞かせていただいていると、花と緑の景観まちづくりなのに、花のことばかりお話されるので、もう少し広範囲にお話いただきたい。管理の問題や、花の一番美しい時期も大切だが、一番大切なのは年間を通して、どういう景観づくりがされているかということだ。花の種類がこうだというのではなくて、大きく言えば生駒の街をどう綺麗にしていくかにつながるのだが。そういう議論であって欲しいとつくづく思う。
- 【久座長】 先程の芝桜の話为例にとって言おうと思っていたが、結局、芝桜というのは農家の庭に多い。石垣のところ垂れてくるというのが非常に美しい風景になっているが、農村風景というのは、先ず緑があってそこに季節によって色物の花が入ってくるというようなものだ。4月くらいになってくると芝桜が入り、今の季節になると彼岸花が、11月頃になったら柿のオレンジ色が入ってくる。四季折々の花が変わっていくが、ベースには緑がある。そういうような感じがあったらと思う。そういう意味では今回の斜面は一時期には華やかに咲くが、無い時期はどうなのかなと思う。ビデオしか見ていないが少し寂しい感じがした。もう少し低木があったほうが良かったと思う。
- 【林原委員】 花と緑のコンテストということで、団体あるいは個人という切り口で我々は取り組んでいる。もう一つ提案なのだが、生駒市ないしは生駒市民で、外に向かって何か花と緑の情報を発信できないかというのを考えている。というのは、観光客あるいは外から引き付けて生駒に来てみようと思ってもらえるように。例えば畑一面にひまわりがたくさんあるとか、今だったらコスモスが満面に咲いているとか。そこには駐車場があって、レストハウスがある。というようなニュースソースなるような引き付けるものが欲しい。生駒市ある

いは生駒市民は花・緑に取り組んでいるのだという引き付けるものが欲しいなと思う。

【山田委員】 制度的に補助制度はたくさんある。県も国も風呂敷を広げている。早くそこに気付くべきだ。それを行政さんの一番末端である市区町村がやるべきなのか、あるいは市民の自治連合会を通してやるべきなのか、どちらでもいいが、要するに我々市民が早く見本をみせてほしい。そうすれば動く。そういう制度はいくらでもある。

【林原委員】 個人でやるのではなくて、なにか市を挙げてあるいはボランティアがいくつも挙げて総力みたいなものを感じたいと思う。

【山田委員】 コスモスでもヒマワリでも何でもいい。補助制度でやっている。

【久座長】 具体的に言うと泉大津では役所が呼びかけて7、8年前から「ヒマワリ大作戦」というのをやっている。休耕田を借りてやっているのだが、お金はこの数年ずっと市役所から活動助成金というものに応募されて100万円ずつ出していた。私も審査員としていつまで出したらいいのかと言った。もう少し自分たちで寄附を募るとか、そういう形でやったらどうですかと話したことはあるのだが。一回始めるとやめられなくなるし、お金もかかってくる。やはりその工面を考えながらやらないと打ち上げ花火みたいに終わってしまう。私が関わらせていただいている隣の大和郡山市がこの1、2年面白くて、20代30代の人がいるんなイベントを勝手にやっている。

【林原委員】 例えば大和郡山市の事例を教えていただきたい。

【久座長】 8月19日は金魚すくい選手権から一週間、遊郭の建物を使って大金魚博覧会といって、金魚の絵画とかオブジェとかを作家さんに声をかけて集め、展示をされた。また10月になったら郡山音楽祭がありましてコンサートをしたり、11月になりますと「HANARART」といって町屋の中に現代アートをするといったイベントが今年は奈良県内に10箇所ほどある。その中の一つに郡山がある。市民の実行委員会が勝手に回してやっておられる。

コンテストに話を戻して、来年度に向けてなにか。もし言い忘れたことがあれば事務局の方に言っていただけたら。

【事務局】 来年度のことで事務局側で考えているのが、今現地視察へ行っていただいた際に、メモの欄に各自それぞれが思い当たることを書いていただいているのが現状だが、この要綱の審査基準にはいろんな項目が書いている。先程から緑について、また花についても数や種類についておっしゃっておられるのだが、この表のくくりを景観面からや、まちづくり面からのいろんな方面から項目を挙げまして、5段階評価の欄を設けて、現場を見ながら項目に合わせて評価していただく。当然これまでと同じメモを付けておく。このような見方で全項目をチェックしていただくと、総合得点を付けていただくのはいかがか。これは事務局の全くの素案で、そんなことを考えているのだがいかがか。

【山田委員】 いいと思う。

【稲葉委員】 昨年そのような話は出たかと思う。それで確かに、西川所長に言ったのだが、今回は採用されなかったのだと思っていた。確かにそういう評価にするとやりやすいと思う。

【下村委員】 後は、運用の仕方だけだと思うのでチェックしやすいと思う。現地に行った意見として扱っていただくと、点数ができるので、放っておけば現地審査員だけの1等賞、2等賞が出る。基準値をここでちゃんと出してあげたほうがいいと思う。例えば、9割の人がちゃ

んと審査していたら、残りの 1 割の人もちゃんと審査ができるスタンスができる。10 分で決まるのかどうかは運用の次第だ。審査委員としては付けやすいと思う。

【久座長】 総合得点方式のもう一つの欠点は、まんべんなくできたものが得点が高くなることだ。ずば抜けてこれが良いというものが選ばれなくなってしまう。あくまでも手持ちの参考資料としては良いが、それだけで点数が決まってしまうような、システムをとってしまうとバランスのいいものでないとなかなか賞をもらえなくなってしまう。それも面白くないなと思う。

【日高委員】 数字で表してしまうと、微妙なところの評価が難しい。結果的に少し違うなと思う。

【事務局】 これが決定ではないので一回やっていただくのがよいのではないか。

【稲葉委員】 一応参考資料という感じで。

【事務局】 一度素案を作らしていただき、また懇話会で話し合っ、それを実行するというこでよろしいか。

【久座長】 それでは又、何か思いつかれましたら事務局の方におっしゃっていただければと思う。ただ、来年度もやるという確約はないので。勝手に我々が言っているだけの話なので期待はしているが。今日はこれまでにしていただければと思う。
それでは、その他があるので事務局のほうからご説明いただきたい。

【事務局】 本日の報告案件は2件ある。まず、皆さんにお配りしているチラシ「第2回花・緑まちづくりフェスタ in ふろーらむ」について、例年は花のまちづくりセンターふろーらむでのイベントになり、都市緑化月間の間にということで10月の末にイベントを実施している。今回は農業際と同日開催ということで11月の11日の日曜日にイベントを実施するというこでよろしくお願ひしたい。農業際の方の場所は北コミュニティセンターで開催するということこでよろしくお願ひする。

もう一つのチラシは「花とみどりの楽校(里山づくり編)」についてご覧いただきたい。この講座の開講式も10月末に予定しており、これは10月27日から始まる。裏面を見ていただいたら分かるように、この講座は平成21年度からやっている従来の「花とみどりの楽校」の中の緑の分野に特化した、里山づくりを実践するボランティアを養成するという講座である。10月27日に開講し、半年間の全11回の連続講座で3月23日までを予定している。また、この講座は市民のボランティアの方々が主体となって進めていただいている。本日も懇話会に参加されている磯貝さんを代表とするグリーンボランティア「いこま宝の里」と本日欠席されておられる児玉さんが所属されている「いこま里山クラブ」の2団体が中心となって進めていっていただく新たな試みとして皆さんのほうに周知の方をよろしくお願ひしたい。

報告案件といたしては以上2件である。

【久座長】 「花とみどりの楽校(里山づくり編)」において下村先生からご意見をいただいでよろしいか。

【下村委員】 市としては緑に特化して里山中心にずっと活動をしていただけるボランティアの方を養成するという主旨で、やっていると聞いているので、本当に実践的な活動にすぐ入っていただける講習会になっている。

まだ募集期間なのか。まだどれくらい集まっているのか聞いてないのだが。

- 【事務局】 定員は30人を予定する。現在、26名の応募をいただいております、10月の10日まで募集している。
- 【下村委員】 あまり言うのはまずいのか。興味のある方は是非募っていただければと思う。
- 【日高委員】 抽選する人はまた辛い。
- 【下村委員】 バリエティにとんだ内容になっているので、興味のある方は是非積極的にご協力お願いしたい。
- 【事務局】 「花・緑まちづくりフェスタ in ふろーらむ」の内容についてはまだ案の段階なので、内容等変わる可能性はある。というのは、下の方に公共交通機関等との話とか、最終的な詰めとかができていない状態なので。
- 【日高委員】 できていないのに載せたのか。
- 【事務局】 裏に「フェスタの内容は都合により変更する場合がございます」とあるのであくまで案ということでよろしくお願ひしたい。
日付だけは確定しているのです。
- 【久座長】 こんな雰囲気ですやりますよということで。
それでは最後に皆さんから何かいかがか。それでは案件は以上になりますので、事務局の方によろしくお願ひしたい。
- 【事務局】 次回の事務局の日程については12月7日の金曜日である。場所はまだ未定だが、午後1時30分から。案件につきましては保護樹木等の要綱の改正について予定しているのによろしくお願ひする。以上。
- 【久座長】 今日と時間が異なっているので、間違いなく午後1時30からよろしくお願ひする。
それではこれで「第25回緑の市民懇話会」を終了させていただく。